allcinema

レポゼッション・メン（2010）

REPO MEN

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　サスペンス
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　111分
初公開日 2010/07/02
公開情報 東宝東和
映倫　R15+

【キャッチコピー】
延命のために、
人工臓器を
高額ローンで買う未来。
払えなければ、
回収（レポ）される――。

【解説】
　ジュード・ロウ主演で放つＳＦサスペンス。恐竜ハードボイルド“鉤爪”シリーズの人気ミステリー作家エリック・ガルシアが企画段階から関わり、原作小説『レポメン』を書き下ろすとともに並行して映画シナリオも自ら手掛け完成させた。高額な人工臓器によって長寿が得られる一方、ローン返済が滞れば合法的に人工臓器を回収され死を迎えてしまう近未来を舞台に、腕利きの臓器取立て屋（レポメン）だった男が、何者かの罠に陥り、自らがレポメンの標的となりサバイバルを余儀なくされる姿を、グロテスクな描写も織り交ぜ描き出していく。共演はオスカー俳優フォレスト・ウィテカー。監督はこれまでＣＭやミュージック・ビデオ界でキャリアを築き、本作で長編デビューのミゲル・サポクニック。
　人工臓器の進歩で延命が可能となった近未来。しかし、人工臓器は高額なため、人々は製造元のユニオン社が用意する高利のローンを組まなければならなかった。そしてひとたび滞納すれば、ユニオン社が送り込む回収人“レポメン”によって、否応なしに人工臓器を回収される非情な現実が待っていた。レミーとその相棒ジェイクは、そんなユニオン社の中でも指折りのレポメン。しかしレミーは、この仕事に批判的な妻の希望を聞き入れ、足を洗うことに。ところが最後の仕事に向かった彼は、回収の最中にアクシデントに見舞われ気絶してしまう。そして、ベッドの上で意識を取り戻した彼の身体には、ユニオン社の高額な人工心臓が埋め込まれてしまっていた。やがて返済も滞り、ついにはレポメンから追われる身となってしまったレミーだったが…。

【クレジット】

監督	ミゲル・サポチニク	Miguel Sapochnik	
製作	スコット・ステューバー	Scott Stuber	
製作総指揮	ジョナサン・モーン	Jonathan Mone	
	マイク・ドレイク	Mike Drake	
	ヴァレリー・ディーン	Valerie Dean	
	アンドリュー・Ｚ・デイヴィス	Andrew Z. Davis	
	ミゲル・サポチニク	Miguel Sapochnik	
原作	エリック・ガルシア	Eric Garcia	『レポメン』（新潮文庫刊）
脚本	エリック・ガルシア	Eric Garcia	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

	ギャレット・ラーナー	Garrett Lerner	
撮影	エンリケ・シャディアック	Enrique Chediak	
プロダクションデザイン	デヴィッド・サンドファー	David Sandefur	
衣装デザイン	キャロライン・ハリス	Caroline Harris	
編集	リチャード・フランシス＝ブルース	Richard Francis-Bruce	
音楽	マルコ・ベルトラミ	Marco Beltrami	
出演	ジュード・ロウ	Jude Law	レミー
	フォレスト・ウィテカー	Forest Whitaker	ジェイク
	リーヴ・シュレイバー	Liev Schreiber	フランク
	アリシー・ブラガ	Alice Braga	ベス
	カリス・ファン・ハウテン	Carice van Houten	キャロル
	チャンドラー・カンタベリー	Chandler Canterbury	
	ジョー・ピングー	Joe Pingue	
	ライザ・ラピラ	Liza Lapira	
	イヴェット・ニコール・ブラウン	Yvette Nicole Brown	
	ＲＺＡ	RZA	
	ティファニー・エスペンセン	Tiffany Espensen	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.